

みたけ夢だより

3 月年度末号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

桜の季節に

校長 長尾 晴美

春の風がやさしく吹く 3 月 15 日、第 42 回卒業証書授与式を行いました。6 年生と初めて出会ってから 4 年経ちました。一人一人の未来宣言が担任によって読み上げられる中、しっかりと前を向いて返事をし、卒業証書を受け取る立派な姿の卒業生でした。卒業生に向けて校長の言葉を伝えました。

「—— 今年が最高学年として過ごした一年間でした。二泊三日の日光赤城方面の体験学習。出発の日になって『赤城少年自然の家』が停電で泊まれない事になったときのことを覚えていますか。代わりの宿の手配や、泊まるための準備に、たくさんの方の努力と善意があったことを知ると、皆さんは様々な予定の変更があっても、誰も文句を言わず、柔軟に対応してくれました。そればかりか、返ってその状況を楽しもうとしていたようにも見えました。

また、運動会での演技。身体が痛くなっても歯を食いしばって練習をする姿がありました。最高の演技にしたいという皆さんの思いが、みたけ伝統のソーランの演技をしっかり受け継ぎたいという気持ちが、日々伝わってきました。

そして、ファイナルステージ。準備期間が十分ではなかったかもしれませんが、6 年生を締めくくる素晴らしい発表でした。(中略) 皆さんは友達同士でアドバイスをし合い、がんばる友達の姿を見て自分にスイッチを入れていました。まさに学年目標の『切磋琢磨』を実践していました。

10 月の朝会でノーベル賞を受賞した本庶佑さんの『6 つの C』の話をしました。時代を変える研究には 6 つの C(好奇心・勇気・挑戦・確信・集中・継続)が必要だという話です。今年の皆さんを見ていると挑戦『Challenge』が思い浮かびます。最高学年としてチャレンジする皆さんの姿は、下級生がっかり見ていました。この後のおおかれの言葉が本当にみたけ台小学校でのファイナルステージです。どうぞ自分のために、仲間のために、そして自分を支えてくれた全ての人に気持ちが届くよう、すてきなステージにして巣立って行ってください。

これからは中学生です。日々、小さな事からチャレンジ、自分に自信をもって行ってください。そして、当たり前で過ごすことのできる日常や周りの人への感謝を忘れず、どうか精一杯自分の人生を送って行ってください。——」

地域の皆様、保護者の皆様お忙しい中、ご参列いただきましてありがとうございました。来賓の方々から卒業証書授与式の感想をいただきました。一部ですが、ご紹介させていただきます。

- ・心に残る学年でした。とても温かい子どもたちでした。登校時、一年生の歩く姿にゆっくりと登校する姿もあり、忘れられない学年でした。ありがとうの言葉は私からかけたと思います。
- ・とても温かくこちらもおだやかな気持ちになるお式でした。この学年はみたけ夢応援団のサポートでよく関わってきた学年でしたので、皆さんの立派に成長した姿をうれしい気持ちで拝見させていただきました。本日はおめでとうございます。
- ・歌声がいつも素晴らしく感動しました。子ども達の「えがお」に心がいやされます。将来の夢しっかりしています。これからも夢をもって元気で前に進んでほしいと思います。
- ・毎年感動の卒業式ですが、今年も 6 年生の真剣な顔、態度に心打たれました。6 年間の締めくくりとして立派な式にしようというみんなの思いが伝わってきました。またそれに応えようとした 5 年生も立派でした。歌声にも感動でした。
- ・みたけ台小学校の卒業証書授与式に初めて出席しました。卒業生、在校生も、地域の宝なので元気な様子を見ることができて嬉しく思いました。

年度のもつめにあたり、子どもたちが、この一年間の成長を自信にして、さらに輝いていくことを願っています。これまでいつも温かく見守ってくださいました地域の方々、そして保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

どうぞ来年度も変わらず、ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

